

研究課題「院内死亡例から読み解く～Medical Emergency Team の活動効果～」に関する情報公開

1, 研究の目的

院内迅速対応システム（以下、Rapid Response System : RRS）は、2005 年より必要性を強く推奨されるようになり、様々な病院で導入されている。このシステムは、患者が重症化する前に早期に介入し、予後を改善させることであるとされている。当院では、2021 年 5 月より院内迅速対応システムとしての活動を、Medical Emergency Team（以下 MET）と名付け、クリティカルケア領域の認定看護師がそれぞれ、急変予知対応、急変対応、急変回避を 3 本柱に掲げ活動を開始した。

それぞれのチームが、患者急変を未然に防ぐための活動や急変が起こってしまった場合の対応強化へ取り組む中で、2 年間の活動を振り返り評価するための指標として、活動件数の推移や患者急変の件数減少にて評価を行っている現状である。先行文献においても同様に評価を行っているが、実際に RRS として介入しなければならなかった事例や危険予知できずに死亡した事例なども考慮し振り返りを行っている論文は少ない。MET チームが介入することで予防出来た可能性のある死亡例はなかったのか、MET 活動を開始する以前の院内死亡例を踏まえ集計し、院内死亡例から突然死や患者死亡前後の状況を把握し危険回避に繋げることが出来た症例はないのか調査を行う。さらに活動を開始した 2 年間の院内死亡例を検討することで、これまでの MET 活動の評価と今後の課題を見出す必要があると考え、本研究に取り組むこととした。

2, 研究対象

2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までの院内死亡患者

3, 研究に用いる情報

①2018 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日までの院内死亡患者の死亡者数、死亡内容、MET コール・MET ラウンド介入患者数、コードブルー要請患者数

②診療録

- ・患者の年齢
- ・疾患（死に至る原疾患）
- ・状態の推移
- ・治療内容

③看護記録

- ・バイタルサイン測定値
- ・患者の状態変化
- ・看護介入内容 など

4, 研究組織

研究実施責任者：今村総合病院 A 棟 5 階病棟 看護師 平川 あゆみ

研究分担者：今村総合病院 小濱 奈々 中村 倫丈 西村 時紘 西垂水 和隆

5, お問い合わせ先

- ◎ 本研究に関するご質問・相談がある場合
- ◎ 研究を希望されない場合

情報が該当研究に用いられることについて患者様、もしくは患者様の代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としません。その場合は当施設の担当者の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

当施設の相談窓口

研究責任者（当施設）：今村総合病院 A棟5階病棟 平川 あゆみ

研究分担者：小濱 奈々、中村 倫丈、西村 時紘、西垂水 和隆

所属長：池田 清夏

〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 11-23

TEL 099-251-2221 (代表)